

令和6年度日字保育所事業報告書

1 保育所の運営

(1) 定員 400 名

(2) 年齢別・月別入所児童数（各初日現在）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
乳児	8	11	13	12	14	17	22	23	29	29	34	36	248
1・2歳児	84	86	86	85	84	84	84	87	87	88	87	87	1029
3歳児	51	51	53	51	52	53	53	53	53	50	49	49	618
4歳児以上	72	73	74	74	74	73	73	72	73	72	72	73	875
計	215	221	226	222	224	227	232	235	242	239	242	245	2770

(3) 職員数 令和6年度始 46名、令和6年度末 49名

(4) 職員の異動等

①採用

年月日	職名	氏名	年齢	資格	備考
R6.4.1	保育士			保育士資格	常勤保育士
R7.2.1	用務員				

②異動

年月日	職名	氏名	年齢	資格	備考
R6.3.31	主任保育士			保育士資格	配置換減→佐々神田保育園

③退職

年月日	職名	氏名	年齢	資格	備考
R7.1.31	用務員				一身上の都合により
R7.3.31	保育士			保育士資格	一身上の都合により
R7.3.31	保育士			保育士資格	一身上の都合により

(5) 職員会議の開催状況

職員会議は毎月2回以上実施した。各クラスで子ども達の安全を確保できる体制を整えるため、行事連絡・相談（保護者対応や気になる子への援助）等必要に応じて意見を交わした。また、各日のクラス状況を共有するため、ミニカンファレンス（毎昼12時20分より）を行った。会議内容は議事録としてまとめ、全職員に周知した。

会議では、職員各々の自己研鑽及び社会情勢への関心を高めることの推奨を意識した。また、情報共有によって職員と保護者との認識の相互理解を深めることに努めた。内容は議事録としてまとめ、全職員に回覧し周知した。月一回の給食内容検討会では、各クラスの嗜好・喫食状況、旬の野菜や食材の栄養価等を鑑みた献立の検討をした。

2 保育の実施状況

「命を大切に」の保育理念を柱に、子ども一人ひとりの育ちに向き合いながら、子ども達自身が主体的に活動できるような工夫をし、関わりを通して豊かな心を培う保育の実現に努めた。発達面で気になる子については、保護者と密に連絡を取り、必要に応じて関係機関と連携を図りながら園全体で援助・見守りの体制づくりを行った。

短時間の保育参観ではなく、1日保育参観（午前9時から午後4時まで）を行なった。ほぼ全ての保護者が参加された。保育所でのありのままの子どもの様子や保育者の保育の様子を見て頂くことができた。保護者との懇談の時間を設け、子どもの様子や悩み事などじっくり話すことができた。また、アンケートを実施し、家庭での様子との違いや悩み事など、潜在的な保護者の思いを汲み取るように努めた。

食育では、園庭にキュウリやジャガイモを栽培し、成長の喜びを友だちと分かち合うことができた。また、季節を感じながら興味・関心・創造性などを育むことができる環境づくりを心がけた。園内の衛生消毒もこれまで通り継続

して行った。空気清浄機を設置し、室内の換気も心がけた。日々の温湿度の状況を把握し、暑さ指数が高い時には戸外遊びを控え、室内で巨大アスレチックをつくり遊ぶなど、創意工夫をしながら保育を行った。

職員一人ひとりが、保育・衛生管理に関する新しい情報の取得に心がけた。子どもたちが安心して状況に応じた活動が行えるよう、保育をみつめ、問い直す場を何度ももった。

3 外部講師の指導状況

指導内容	講師名	指導回数（年・月指導回数）	委託先名
漢字保育指導		午前9時30分より 年6回	登龍館(漢字保育指導)
幼児体育指導		毎週金曜日午前9時30分より 年間22回	いむら体育教室
英語遊び指導		毎週木曜日 午前9時30分より年間30回	英語あそび

4 年間行事の実施状況

実施年月日	行 事	実施年月日	行 事
4.4	バスハイク 島瀬公園 百合組	10.16	お誕生会・心の保育
4.8	花祭り 桜組	10.21	防災訓練（火災）
4.17	防災訓練（火災）	10.23	日宇地区公民館まつり 桜組
4.18	親子歓迎遠足 森きらら	11.10	鍛錬遠足（以上児）
4.24	お誕生会・心の保育	11.11	内科検診
5.10	バスハイク 早岐茶市 桜組	11.12	鍛錬遠足（薔・堇・百合・桜組）
5.15	お誕生会・心の保育	11.13	お誕生会・心の保育
5.15	尿検査（以上児）	11.13	ランチバイキング 桜組
5.22	防災訓練（火災）	11.15	防災訓練（火災）
5.28	内科検診	11.20	日宇小学校交流会 桜組
6.4	歯科健診	11.21	バスハイク/大島マーチング百合組
6.12	お誕生会・心の保育	11.21	大島マーチング参加 桜組
6.17	防災訓練（火災）	11.29	園内芋掘り 桜組
6.25～28	保護者参加型参観	12.4	お誕生会・心の保育
6.27	「野歩さんと遊ぼう」（以上児）	12.18	お遊戯会（以上児）
6.30	園内研修（五ヶ園研修）	12.20	もちつき会
7.5	七夕誕生会・心の保育	12.24	防災訓練（火災）
7.12～18	保護者参加型参観	1.15	お誕生会・心の保育
7.17	茄子収穫 桜組	1.18	生活発表会（未満児）
7.17	夏まつり ごっこ	1.20～24	保護者参加型参観
7.19	相浦プール 桜組	1.28	総合防災訓練
7.22	防災訓練（火災）	2.3	節分誕生会・心の保育
8.5	防災訓練（火災）	2.4	交通安全教室
8.6	交通安全教室（以上児）	2.19	バスハイク 交通公園 桜組
8.20～23	保護者参加型参観	2.25	サッカー大会 桜組
8.21	お誕生会・心の保育	2.27	園内歌留多大会
9.3	命のお話 百合組	3.3	お雛様誕生会・心の保育
9.4	防災訓練（火災）	3.4	大島マーチング参加 桜組
9.3～6	保護者参加型参観	3.7	お別れ遠足
9.11	お誕生会・心の保育	3.17	防災訓練（火災）
9.12	バスハイク 子ども科学館 百合組	3.12	お別れ会
10.11	運動会 東部スポーツ（全園児）	3.15	卒園式
10.15～18	保護者参加型参観		

5 職務分担表（令和6年度最終版）

職名及び氏名		職 務 内 容	
所長 清水由美子 (苦情解決責任者) (虐待防止責任者)		1 理事会の決定事項の執行	5 職員の資質向上(研修)
		2 運営管理(人事・労務・施設・防火)	6 関係機関, 保護者会等との連携及び地域活動
		3 保育業務の管理(保育課程の作成)	7 苦情解決責任者
		4 財務管理	
		1. 所長の補佐	2 運営管理、保育業務の補佐
主任保育士 (苦情受付担当者)		1 所長の補佐	6. 保健衛生に関する計画及び指導
		2. 職員相互の連携	7. 給食に関する助言指導
		3. 保育課程の作成及び保育内容の指導助言	8. 職員会議の計画と実施
		4. 園内研修の企画及び指導	9. 小学校との連携
		5. 園行事に関する計画及び指導	10. 苦情受付担当者
保育士 共通事項		1 指導計画の作成	4 保育に関する記録(園だより作成等)
		2 保育実務	5 保護者との連絡及び指導
		3 園児の健康と安全管理調	6 調理員との連携
保育士		*桜組の担任	
保育士		*百合組の担任	
保育士		*堇組の担任	
保育士		*薔薇組の担任	
保育士		*蒲公英組の担任	
保育士		*薔組の担任	
保育士		1 共通遊具の整理、保存	
保育士		1 保育材料に関すること	2 図書管理
保育士		1 園舎内外の掃除点検	2 備付物品に関すること
保育士		1 交通安全及び避難訓練に関すること	
看護師 (衛生推進者) 保育士		1 保健衛生・衛生推進に関すること	3 衛生推進に関すること
		2 健康診断及び歯科健診、尿検査に関すること	4 検便に関すること
			5 医薬品の整備・保管
事務員		1 保育所の事務一般に関すること	
保育士		1 延長保育促進事業に関すること	1 一時預かり事業(自主)に関すること
保育士		1 心の保育に関すること	
保育士(食育担当)		1 食育に関すること	
用務員		1 用務に関すること	2 園児バス運転に関すること
調理員		1 献立の作成及び給食材料の発注・検収	4 炊具、食器の保管
		2 給食人員の把握	5 給食事務
		3 調理・配膳	6 園舎内外の清掃, 整頓に関すること
嘱託医		1 園児及び職員の健康診断	2 園児及び職員の健康に関する指導
嘱託歯科医		1 園児の歯の健診	2 園児及び職員の歯の健康に関する指導

6 施設等の整備計画

(1) 施設の改築・修繕（１００万以上）

年 月	工 事 名	金 額
なし		

(2) 固定資産物品（１０万以上）の購入

年 月	物 品 名	金 額
R6.9	1 1 0 番通報装置一式	330,000
R7.3	ノーリツ給湯器 3 2 号一式	296,450

7 保育所の自己評価

(1) 職員の自己評価

年 2 回実施した。目標に掲げた事柄と実践した保育を振り返り、子どもの視点に立ちながら保育の内容について自己評価を行った。反省をもとに専門性の質の向上に努め、来年度の目標につなげた。

(2) 保育所における自己点検・自己評価

3 歳以上児、3 歳未満児クラス単位で、保育内容や地域の状況、保護者との関わりの実態を鑑みながら、見直した。最終的には施設長の責務のもと、保育所全体の点検・評価につなげた。保育所全体の評価を 4 段階で表し、現状及び改善点を示すことで、次年度の保育の質の向上に繋げた。また、外部への公表も行った。

8 職員の研修参加状況

職員の希望や保育所での役割などを考慮し、研修に参加した。キャリアアップ研修は、オンデマンド・DVD・集合研修での参加となった。職員一人ひとりが保育の質の向上を図り、実践していく中で問題点を考究して自己研鑽することができた。また、研修内容の報告や保育関連の新聞社説等から社会情勢を取りあげることで、職員へ意識づけを行い日々の保育につなげることができた。

(1) 外部研修

年月日	研修会名	参加者名
5.12	登龍館 夏季指導者研修会	
5.23	一般社団法人長崎県保育協会 食育研修会	
5.23	佐賀メイト うんとこどっこい運動会	
6.24	一般社団法人長崎県保育協会 施設長研修会	
7.10	一般社団法人長崎県保育協会 保育研修会	
7.30	佐世保市保健福祉部 調理従事者等研修会	
8.27	一般社団法人長崎県保育協会 保育研修会	
9.6	佐世保市幼児教育センター調理担当者実技研修会	
9.12	一般社団法人長崎県保育協会 主任・主幹研修会	
10.22	一般社団法人長崎県保育協会 保健研修会	
12.6	保育士部会（食育班）研修会	
12.16	一般社団法人長崎県保育協会 職員研修講演会	
11.25～2.7	キャリアアップ研修 「乳児研修」	
12.12～2.16	キャリアアップ研修 「幼児研修」	
12.12～2.16	キャリアアップ研修 「障害児研修」	
12.12～2.16	キャリアアップ研修 「食育・アレルギー研修」	
12.12～2.16	キャリアアップ研修 「保健衛生・安全対策」	
12.12～2.16	キャリアアップ研修 「保護者支援・子育て支援」	

12. 12～2. 16	キャリアアップ研修 「マネジメント」	
1. 20	一般社団法人長崎県保育協会 研修部会企画研修会	

(2) 針尾福社会主催の研修実施状況

漢字保育園内研修 年6回

4/12 5/30 8/8 10/18 11/14 2/27

9 意見・要望・苦情・不満処理受付状況

・特記事項なし

令和 6 年度

A：大変良い
B：良い
C：一部検討を要する
D：改善を要する

保育園（所）における自己点検・自己評価

（園名 日宇保育所 ）

A、B、C、Dの4段階評価

◎ 保育の計画の編成と実施に関する評価

項目	内 容	評 価				意見・改善策
		A	B	C	D	
保 育 目 標 に つ い て	（１）保育目標の具現化に向け、乳幼児の実態を踏まえた全体的を設定しているか。		○			・前年度の施設の状況や、地域の動向等を考慮して全体的な計画を作成した。 ・日々の保育を振り返りながら指導経過記録を記すことで、反省点が明確化され、改善することができた。 ・クラス運営の良い点・悪い点を見直す話し合いを行い、保育に活かすことができた。 ・一人ひとりの子どもの意欲が引き出されるような言葉掛けや、自信が持てるような働きかけに努めたことが、子どもたちの成長へと繋がった。 ・子ども一人ひとりと対話を多く重ねることを心掛けた。
	（２）目標は、施設や地域の特色を生かしているか。		○			
	（３）目標は、情勢を鑑みて子どもの最善の利益になっているか。		○			
	（４）目標は、前年度の反省を生かしているか。		○			
	（５）目標は、全職員で検討し、かつ共通理解を図っているか。	○				
保 育 に つ い て	（１）指導計画は乳幼児の実態に即して作成しているか。		○			・子どもの実態に応じた指導計画を作成するように努めた。 ・保育者が身近にいて、子ども一人ひとりの育ちに向き合うことにより、子どもたちが自発的に活動できるよう努めた。 ・職員間で情報共有する機会を常に持った。 ・職員の声掛けや室内の環境に工夫・配慮し、安心感と信頼感をもって過ごせる場所となるようにした。
	（２）保育所保育指針に基づく援助・支援を適切に行っているか。		○			
	（３）環境の構成を意識した保育や過程を常に工夫しているか。	○				
	（４）評価結果を基に、保育の改善に努めているか。		○			
日 時 程	（１）1日の流れ（デイリープログラム等）は現行でよいのか。		○			・園児数が多いからこそ、各クラスで緊密に話し合い、保育内容や配置を検討した。状況に応じて柔軟に対応した。
行 事 に つ い て	（１）行事の種類や実施回数は適切か。		○			・「行事のための保育」ではなく、日々の積み重ねを見ていただく場となるよう意識した。 ・年間計画を立て実施した。内容を見直ししながら、子ども達が楽しめる環境を検討した。 ・戸外や広いホールで体を動かすことができた。遊びの内容は状況に合わせて創意工夫した。 ・アイデアを出し合い、活気のある園にしていきたい。 ・行事後に反省会を行い、次回の改善に繋げた。
	（２）行事のねらいを計画や実施に十分生かしているか。		○			
	（３）乳幼児の活動範囲を明確にし、自主的・実践的な活動にしているか。		○			
	（４）計画・実施・評価・改善の体制をとっているか。		○			

◎ 保育の計画の編成と実施を支える諸条件に関する評価

項目		内 容	評 価				意見・改善策
			A	B	C	D	
経営・組織	分掌・体制	(1) 能率的、合理的な運営組織になっているか。		○			・職務分担表で職員の職務内容を明確に知らせることで協働しやすい体制作りに努めた。 ・年間計画にもとづき、係や業務を分担した。 ・保育に必要な職員体制を常に考慮し、流動的に職員を配置した。
		(2) 職務内容が明確で、協働できる体制になっているか。		○			
		(3) 職員の配置は適材・適所か		○			
		(4) 係や仕事の分担・割り当ては適切か。		○			
	運営	(1) 各種会議を適切かつ効率的に進めているか。		○			・会議の議題を明確にし、進行が円滑となるようにした。 ・必要に応じて随時開催し、情報の共有や問題の改善を図った。
		(2) 職員相互がそれぞれ全体的立場を理解し、協力や助言を惜しむことなく施設の運営に関わっているか。		○			
		(3) 打合せ回数、時間、内容は適切か。		○			
	年齢別・クラス経営	(1) 年齢別・クラス目標は、保育目標に基づいて設定しているか。		○			・年齢別に毎月目標を立て、創意工夫して活動した。 ・保育内容は個人差を鑑み、試行錯誤しながら設定した事が、子どもたちの成長に繋がった。 ・以上児・未満児クラス共に、縦・横の連携を更に図りながらねらいを設定する必要がある。 ・行事や保育の記録は、適切に処理・保管されている。 ・園全体のチームワークの向上を図っていきたい。
		(2) 年齢別・クラス目標は、乳幼児の実態に即して設定しているか。		○			
		(3) 年齢別・クラス目標に迫る短期・長期のねらいは適切に設定しているか。		○			
		(4) 同年齢及び異年齢時間の効果的な活動の充実を図っているか。		○			
		(5) 意義や趣旨を理解したチーム保育を行なっているか。		○			
		(6) 評価、資料(諸記録)を集積しているか。		○			
	保健・安全指導	(1) 年齢別・クラス経営に生かされるような具体的保健対策を講じているか。		○			・年間保健計画を作成し、それに基づいて毎月の保健だよりを配布した。 ・園内で発生している感染症について、予防対策等を周知した。 ・引き続き園内外の消毒を行った。 ・保護者から毎日健康カードを提出してもらい、体調のチェックを行った。不調の場合は迅速に対応した。 ・食物アレルギー児の管理・担当医師との連携に努め事故防止に努めた。 ・健康調査表を配布し、健康状態を把握した。 ・緊急時における医療機関との連携は万全にしている。
		(2) 避難訓練・交通安全指導を、計画に基づいて適切に実施しているか。	○				
		(3) 健康・安全な生活に必要な習慣や態度育成のため、家庭への啓発を行っているか。	○				
		(4) 乳幼児の安全確保のため、家庭・地域社会・関係機関等と連携を図っているか。	○				
研修	所内研修	(1) 所内研修は、保育目標の具現化につながるものであるか		○			・研修は計画通り、参加できた。 ・オンデマンド研修によって、多人数が参加できた。
		(2) 所内研修の計画・運営は適切か。		○			
		(3) 研修の成果を日常の保育に生かし、乳幼児の育ちに反映させているか。		○			
		(4) 研修の実践による乳幼児理解が深まりを見せているか		○			
	所外研修	(1) 各種研修会、講習会への参加態勢の充実を図っているか。		○			・復命書を提出し、職員会議で研修報告を行い、全職員と内容を共有できた。
		(2) 各種研修会、講習会での内容を所内に還元しているか		○			

項目	内 容	評 価				意見・改善策
		A	B	C	D	
情報について	(1)乳幼児や保護者に関する個人情報を適切に取り扱っているか。	○				・当福祉会の個人情報取扱にもとづき適切に行えた。 ・公文書（就業規則等）は職員が観覧可能なように事務室に配置している。 ・重要な書類は、施錠できる場所へ保管している。
	(2) 公文書收受、発送、処理を適切に行っているか。	○				
	(3) 各諸表簿は適切な時間・方法で作成・処理しているか。	○				
施設・設備	(1) 施設内外・設備の安全点検を計画的に行っているか。	○				・防犯カメラを設置し、不審者対策を講じている。 ・佐世保警察署と110番通報装置で連携がとれている。 ・遊具等点検を毎週行っている。年1回専門業者によって点検を行い、修理が必要な箇所は整備を行っている。 ・各クラス毎の掲示板で、わかりやすく知らせることができた。
	(2) 遊具・用具等を、活用しやすいように整理・保管しているか。	○				
	(3) 不審者等に対応する周到な配慮を行っているか。	○				
	(4) 掲示板、掲示場所等を適切かつ効果的に活用しているか。	○				
出納経理	(1) 各種会計を適正かつ適切に処理しているか。	○				・管理を含めて、適正に処理されている。
開かれた交流・連携 施設間 交流・連携 家庭・地域社会との連携	(1) 他施設等との年間交流計画は、保育目標や課題に添ったものになっているか。	○				・姉妹園で年間交流日を計画したが、1回のみとなった。 ・交流内容を検討し、実行していきたい。
	(2) 他施設等の幼児児童生徒と触れ合う中で(乳)幼児が楽しく過ごし充実感を味わうことができるような配慮や援助・支援を行っているか。		○			
	(3) 指導者どうしが、打合せや事前研修・合同研修を行い、互いの保育・教育に対する理解を深め、援助について共通理解を図っているか。		○			・日宇小学校との交流会を年3回行った。 ・就学前の交流会では、子ども達は興味津々な様子で、就学への期待へとつながった。
	(4) 参観や保育・授業等に参加するなどして、幼稚園・小学校の教育を理解しているか。		○			
	(5) 日常的に情報を交換し、それを交流活動に生かしているか。		○			
	(1) 参観時間を制限せず、参観日等を設定しているか。		○			・保護者参加型1日保育参観を計画し、実施した。保育所への安心感、理解度を高めることができた。 ・来年度は法人内研修を見直し、保育の質の向上となるよう内容を精査し行いたい。
	(2) 保護者を含む地域の人材活用の時期・内容は適切か。		○			
	(3) (乳)幼児の興味や関心に基づいて地域社会・その他の施設と交流しているか。		○			
	(4) 地域の行事に積極的に参加し、地域の文化や生活に触れているか。		○			・地域の伝統行事に参加し、地域の方々と触れ合うことができた。

項目		内 容	評 価				意見・改善策
			A	B	C	D	
開 か れ た 保 育 所 づ く り	子 育 て 支 援 の 推 進	(1) 地域に住む子どもどうし、あるいは親子が一緒に遊ぶことができるような場の設定を行っているか。				○	・地域に開かれた保育所を目指し、次年度より園庭開放を計画している。 ・必要に応じて保護者からの相談に応じた。
		(2) 職員による育児に係る「子育て相談」は充実しているか。		○			
		(3) 医療機関、児童相談所等の専門機関と連携をとり、保護者にとって必要な情報を提供しているか。	○				・子どもの発達や健康状態について心配な場合は、保護者の要望に応じて専門機関の情報を提供した。場合によっては、専門機関と保育所が連携をとった。
	情 報 の 発 信	(1) 保育所だより・クラス通信、ホームページ等で施設の情報を発信しているか。	○				・園だより・給食だより・保健だよりを毎月1日に発行した。 ・ホームページで保育所の活動状況を配信し、情報を知らせている。
	外 部 評 価	(1) 第三者評価を導入し、施設運営に反映しているか。				○	・要望や質問事項などは、意見箱を設置し、保護者の思いを把握するよう努めた。今後の運営の参考の一つとしている。
		(2) 保護者の意見を施設運営に反映しているか。		○			